

# 琉球大学学術リポジトリ

## 研究室紹介（県農業試験場園芸支場根茎物研究室）

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-04-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017133">http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017133</a>

## 農業試験場園芸支場根茎作物研究室

本研究室は、平成元年に県農業試験場本場から園芸支場に移転し、現在研究員2名、農業技術補佐員2名の構成で業務を行っている。

主な研究は、サツマイモ等のイモ類を中心に育種、栽培試験を行っている。サツマイモの研究の歴史は古く、大正3年に人工交配による品種育成の研究が開始されてから、約80年もの間、多くの方々が研究に携わってきた。農林登録された初期の品種や、焼き芋の代表的な品種である高系14号等多くの品種が、沖縄県で交配され高知、千葉、鹿児島県等で育成されてきた。また昭和3年に交配し育成された沖縄100号は、戦後の食料難の時代を支え、中国大陸では革命後に、「勝利100号」と名前を変えて普及した。その後は、全国的に高度成長の伸びに反比例するかのように減産の一途を辿ってきた。主食としての役割を担ってきた時代は終わり、健康食品として見直され、アントシアン、フラボン、カロチノイド等カラフルな色素を生かしたジュース等の加工品開発に活かされ、最近ではブドウに代わるワインの原料として注目されるなど、用途拡大が図られている。さらにサトウキビ栽培との輪作作物としての位置付けや、ゾウムシ類の根絶による本土出荷に向けた高品質栽培法等と、時代に即した研究が課題となっている。

最近、県内において地域おこしにイモ類が利用され、読谷村と伊江村の紅イモ、宜野座村のジャガイモ、金武町のタイモ、石川市のヤマイモ、久米島のサトイモなど、イモ類が地域と結びついている。イモ類は利用、加工技術が伴うことがあり、当研究室では農試場内の加工部門との共同研究体制をとり、また地域との連携を密にしながら研究を進めていきたいと考えている。現在取り組んでいる課題は次のとおりである。

### 1. サツマイモ品種の導入と奨励品種の選抜試験

食用、食品加工用に適する品種の選抜を目的とし、農業研究センターや九州農業試験場からの導入選抜、

また県内の在来系統からの選抜を行い、特に食品加工用(有色系統)に重点を置いている。奨励品種候補として現在、九州113号(濃紫)、北部9、89-165等の系統を上げている。

### 2. 焼き芋用品種の選定及び栽培技術

サツマイモは毎年県外から約20億円の移入があり、主に焼き芋用に消費されている。焼き芋用サツマイモの、県内生産に適した高品質品種の選定と栽培法についての試験は、今後の課題である。

### 3. サツマイモのウイルスフリー苗の増殖と栽培技術の確立

サツマイモのウイルスフリー苗は増収、品質向上が大きいため、青果用のサツマイモを生産するために必要である。苗の増殖技術を確立し、ウイルスフリー苗の供給体制を確立するための具体的技術に寄与する。

### 4. サトイモの高品質安定多収技術の確立

サトイモは久米島を中心として最近かなり伸びているが、本土産地から購入する種イモは、催芽が揃わず収穫イモにばらつきが多い。そのため発芽処理を行い、一斉催芽技術を確立する必要がある。またジャガイモ用のプランターを利用した省力化技術も、併せて検討したい。

### 5. サトウキビおよびサツマイモの機械化畑輪作体系技術の確立

サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ等の畑作物は土地利用型作物であり、サトウキビとの輪作体系技術を確立し、機械化によりサトウキビとともに振興を図ることが重要である。また機械化技術を利用したサトウキビとサツマイモの2連作栽培技術を、読谷村で現地実証する予定である。

### 6. 在来品種の保存

本県の固有な在来品種であり、生育が本県の気象条件に適合し、利用価値も高く、各作物ともそれぞれに増収に寄与できる遺伝子を持っている。我々の生活と

直接結びつく作物が多く、バイオ技術の応用や機械化一貫作業体系も容易であり、生活の向上のための期待も大きい。現在保存中の作物および品種は以下の通りである。

- 1) ヤマイモ：棒いも、扇いも
- 2) サトイモ：白茎、赤茎、ハワイ系
- 3) タイモ：白茎、赤茎
- 4) ダイズ：青ヒグー、低アントー
- 5) サツマイモの在来品種

明治時代の育成品種：

真栄里、佐久川、暗川、他6品種

大正時代の育成品種：

真栄里16号、佐久川13号、長浜17号、他3品種

昭和時代の奨励品種：

沖縄100号、南国、他8品種

- 6) キャッサバ：ハワイ系、沖縄在来、豊見城系
- 7) クズウコン：沖縄在来
- 8) ウコン：黄根系、白根系、紫根系

7. 有用作物の導入

- 1) ヤマイモ：棒いも等20系統
- 2) サトイモの陸生：白茎、赤茎  
サトイモの水生：白茎、赤茎、野生種等10系統  
(比嘉良興、桐原成元)